

令和2年2月19日

東京都知事
小池百合子 殿

東京都議会自由民主党
幹事長 鈴木 章浩

東京マラソン2020の一般ランナーの参加中止に関する要望書

さる2月17日、一般財団法人東京マラソン財団は、本年3月1日に開催される東京マラソン2020について、一般ランナーの参加を取りやめ、来年の東京マラソン2021に出走する権利を付与する決定を公表した。

新型コロナウイルス感染症の国内での広がりが懸念される中、感染拡大を防止し、都民生活を守る必要があることなどからも、こうした判断に至ったことは理解できる。

今回、走ることができなくなったランナーに対しては、東京マラソン2021の出走の権利を付与するが、規約上東京マラソン2020の参加料は返還できないという。しかしながら、東京マラソンを楽しみにしてきた多くの一般ランナーの心情を鑑みると、これらのランナーの方々に対する配慮も必要である。

また、感染防止のためにランナーに配布予定であったマスクを都内の感染防止のために有効に活用するなど、マラソン財団の協力も得てスポーツを安心して行うことができる環境の整備にも、蓄積してきたノウハウやストックを生かしていくことも重要である。

これらの取り組みが、東京マラソンのさらなる発展やスポーツ都市東京の実現にも寄与することにもつながる。以上のことから、下記の事項について要望する。

記

- 一 東京マラソン2020に出走できなくなった一般ランナーへのさらなる配慮について、マラソン財団とも協力して早期に具体策を策定すること。
- 二 マラソン財団が、感染防止のためにストックしている資源を都内の感染拡大防止や安全安心なスポーツ環境整備のために有効活用すること。

以上